

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	①夜間、転倒の危険性のある方に、センサーを使用している。 ②玄関に昼夜センサーを使用している。	①居室センサーの必要性の見直し、転倒防止の工夫。 ②見守りが困難な場合以外は、玄関センサー低音にし、利用者様に不静音を与えない様にする。	①①センサー使用ではなく、利用者様自身でコールできるようにする。 ②利用者様安全のため見守り強化の方の居室の検討。 ③転倒の危険性のある方、家族の方へのセンサー使用を理解得る。 ④「センサー脱」でセンサーなしを目で確認し、利用者様の安全を見守る工夫する。	3ヶ月
2	1	グループホーム顔なじみの理念の見直し	顔なじみが地域と共にある理念を考える。	会議を行い、皆で話し合い、新しい理念を作る。 (平成25年4月1日より掲げる)	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。